

いつも優しい
シゲくんは
同じ大学のゲイ友達だ。



好みのジャンル？は違うけど、
お酒やアニメ好き同士
仲良くさせてもらってる。

夏休みだというのに
今は両方とも彼氏もなし、
夏イベント参加もなし…(悲)

予定を合わせて、はじめて
二人で温泉旅行に来た。

まずはビールで
乾杯しますか♪



あっ
お土産屋でマナブくんが
好きそうな
日本酒
買ったんですよ
冷やしときますね

工学部3年 シゲル



おお！イイっすね！
ありがとうございます！
今日はガッツリ飲みましょ♡

文学部3年 マナブ

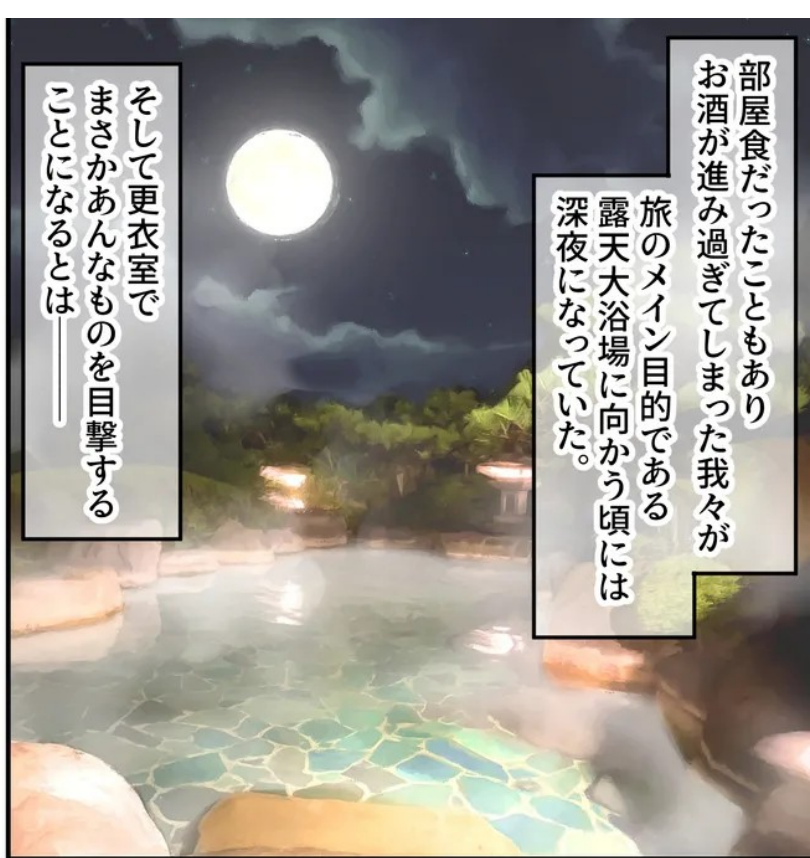
だからこそお互い
リラックスできる
良い関係だと思う。

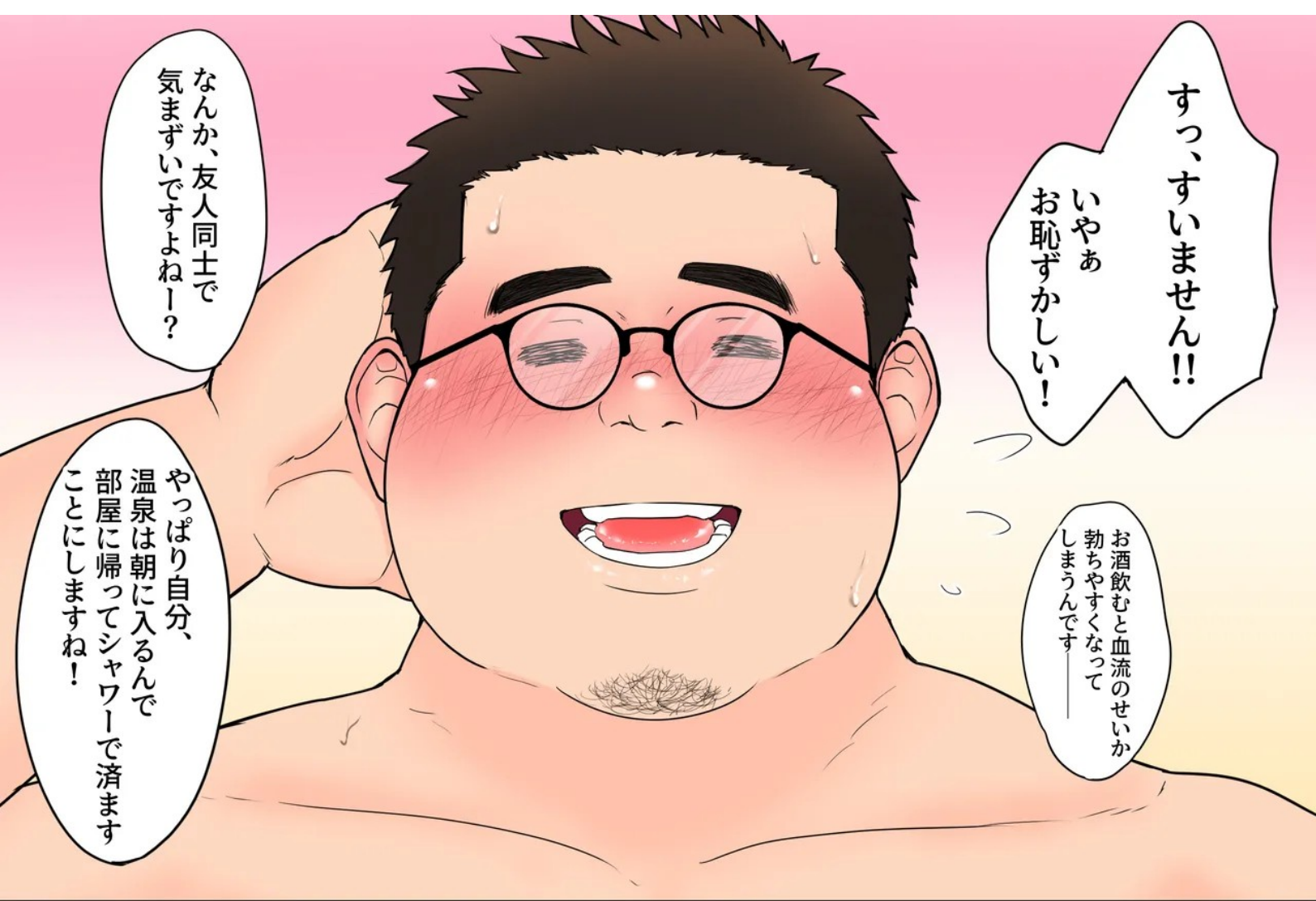
(なぜかいまだに敬語だけど)

そう、何年も
思っていたんだけど

全然タイプじゃないから
エロいことは起こらない。

episode.04
タイプじゃない友達との
温泉でちんぽに負けた話





すっ、すいません!!

いやあ
お恥ずかしい!

お酒飲むと血流のせい
か
勃ちやすくなつて
しまうんです

なんか、友人同士で
気まずいですよねー?

やっぱり自分、
温泉は朝に入るんで
部屋に帰ってシャワーで済ます
ことにしますね!



あー、
わかります。

俺もお酒飲むと
やたらムラムラしちゃう
ほうなんツスよね…

あれ?そういう
話でもないか…

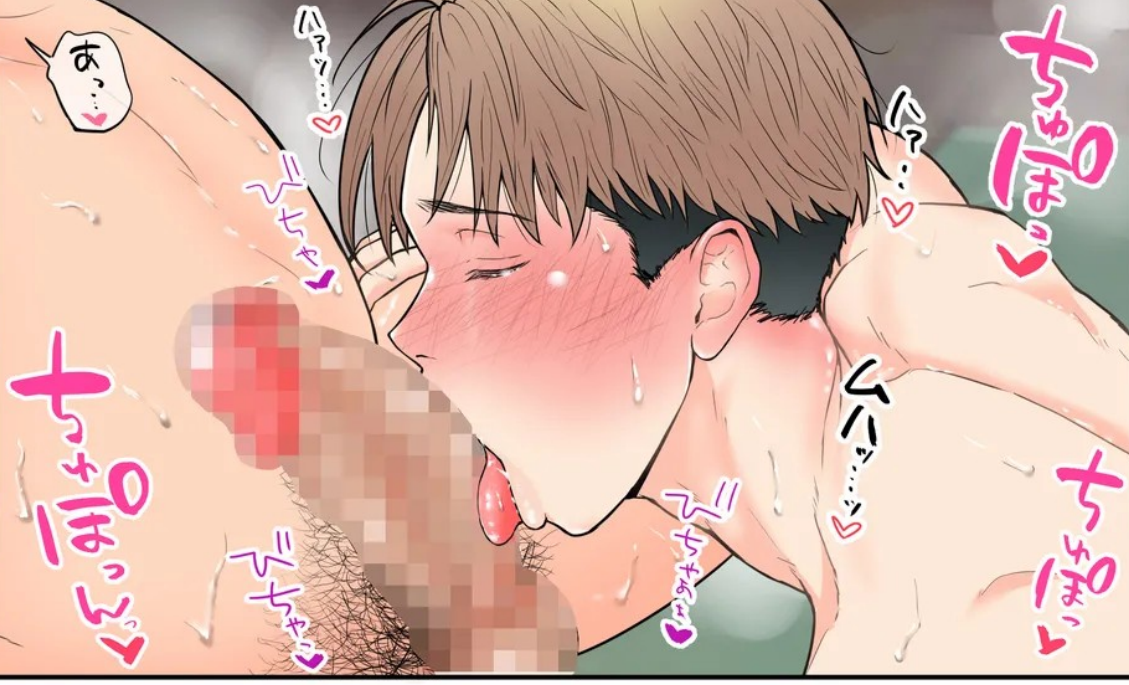
ドキッ
ドキッ

他のお客さんも居ないし
普通に入っちゃって
イイんじゃないツスカね?

せっかく来たのに
一人で入るのは
寂しいですし…

そういや
貸切風呂もある
みたいツスね…

貸し切りの浴室で
俺はずっとイケなかったはずの
友人のペニスをひたすら貪った。



のぼせない様に風呂は早々に
引き上げたけど、出来るなら
いつまででもしゃぶっていたい
極美味デカチンだった。

部屋に戻ったらすぐ
二人とも各々、荷物から
コンドームを探して始めて



だけど実はこの夜は
そのどっちも必要なかった
のかもしれない。

途中から精液がローション
代わりで生でハメ倒されたからだ。

あられもなく尻穴を晒し
突っ伏させた俺に、シゲくんは
寝バックで野生の獣のように
その巨軀を激しく打ちつけてくる。

温和な友人の新たな一面…。
その容赦ない摩擦刺激に、俺は
ただ呻り悶え続ける外なかった。

「誰とどこに行くにも
ゴムとローション持参なんて
ゲイあるある過ぎる」
と笑い合った。

気持ち良いかい？

うんっ♡

ヤヴァっ♡

うんっ♡

うんっ♡

挿入時に窮屈だった会陰部は
今やゆるみまくって、ケツからは
ぐちゃぐちゃと下品な音が
部屋中に響き渡っていた。

シゲくんが腰を振りながら
首筋に唇を這わせると、
どうしても背中がのけぞってしまい、
その度にはずみでトコロテンしていた。

うんっ♡
うんっ♡

やまっ♡

ふっ♡

はっ♡
はっ♡

はっ♡

マナブくん、
トコロテンも
するんだね？

いいつもはッ…
しなっあっ♡イツ…

あ、また
す、す、す

こんなに
スケベなんてなあ…♡

せっ♡
ほっ♡

せっ♡
ほっ♡

うんっ♡
うんっ♡

せっ♡
ほっ♡

うんっ♡
うんっ♡



彼はそのぶっ太い分身を
何度も俺のナカに
振り込んで
何度も激しく中出した。

ぼってりとした彼の肉棒の
ピストンに腸壁がこだまして
ケツイキがケツイキを呼んだ。

オシッコ

オシッコ

オシッコ

オシッコ

オシッコ

オシッコ

オシッコ

オシッコ

オシッコ



酔っぱらった友人をバチクツに犯しちゃったぞ…汗マナブくん、すまん！でも気ん持ち良過ぎたあ♡明日ダメ元で告白しよ…

はよー！はよー！
後発？
中出し？
放尿状態
IQ0

朝方までずっとエッチは続いた。あまりの快感と興奮と一体感に、俺は全身が性器になった様だった。一つになって俺達は初めてお互いを深くわかり合えたんだと思う。

次の日クタクタだったけど朝からまたイチャイチャした。帰りのバスで俺から告げた。友情エロから始まる恋愛もあるんだなって。温泉っていいよな♡

ビクビクッ！